



Press Release

2013年12月12日
ダウ化工広報室

ダウ化工、新製品「スタイロフォーム」FGを発表 Fランクの断熱性能を実現



ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、社長：杉山 隆博）は、断熱性能をより高めたスタイロフォーム押出發泡ポリスチレン断熱材の新製品「スタイロフォーム™」FG（ダウ・ケミカルにより国際特許出願中）を開発し、上市を決定しました。2014年第1四半期中に商業生産および販売を開始します。

国を挙げた省エネ施策や環境対策の強化を受け、住宅・建築の断熱性能が注目を集めています。ダウ化工は、より地球に優しい断熱材の開発を進め、住宅・建築および冷凍倉庫用途向けに、「スタイロフォーム」FG 押出發泡ポリスチレン断熱材を新規開発しました。「スタイロフォーム」FG は、熱伝導率が小さい発泡剤や放射低減剤を採用し、また、気泡形状を微細化することなどにより、断熱性能の最高レベルであるFランク、熱伝導率0.022W/mKを実現しました。「スタイロフォーム」FG は一般住宅をはじめとして、より高度な断熱性能が求められる冷凍倉庫など、幅広い分野での採用が期待されます。

■ Fランクの熱伝導率

「スタイロフォーム」FG は、熱伝導率0.022W/mK以下、断熱材性能区分の最高レベルであるFランク（A種フェノールフォーム保温板1種1号および2号に相当）を実現しました。Fランクの断熱性能は既存製品と比較した場合、「スタイロエース」（A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b）に対して17パーセント、「スタイロフォーム」EX（A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b）に対して10パーセントの断熱性能向上に当たります。「スタイロフォーム」FGの高い断熱性能により、既存製品と同一の断熱性を持たせる場合、約20パーセントの厚み低減が可能になります。

■ 従来の「スタイロフォーム」の優れた性能を継承

「スタイロフォーム」FGは、従来の「スタイロフォーム」が持つ圧縮特性、酸素指数26パーセント以上の難燃性、低吸湿・吸水性などの優れた特徴をそのまま継承しています。また、ダウ化工の製品開発コンセプトのひとつである、「地球に優しい製品作り」に一貫して取り

組み、ノンフロン・ノンホルムアルデヒド製品であるのはもちろんのこと、PRTR 物質も使用していません。さらに、材料のリサイクル利用が可能で、グリーン購入法の特定調達品目でもあります。

ダウ化工は米大手化学メーカー、ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（出資率 65 パーセント）と住友化学株式会社（同 35 パーセント）の合弁による日本法人です。押出発泡ポリスチレン断熱材の国内最大手として、ダウ化工は国内でおよそ 40 パーセントの市場占有率を保持しています。親会社であるダウ・ケミカルの「スタイロフォーム™」製品は、世界の押出発泡ポリスチレン断熱材市場でおよそ 40 パーセントの占有率を占めています。

ダウ化工 ホームページ： <http://www.dowkakah.co.jp>

®™ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー商標

ダウ化工広報室 沢登（電話： 03 5460 6276 メール： rsawanobori@dow.com）

ダウ化工の親会社であるダウ・ケミカルは、米国ミシガン州に本社を置く世界最大の石油化学品メーカーです。世界 160 カ国で事業活動を展開するダウの年間売り上げは約 570 億ドル、従業員数は 5 万 4 千人です。世界 36 カ国 188 カ所の製造拠点で、5 千を上回る製品の生産に従事しています。ダウ・ケミカルは 1973 年に東京証券所に上場した最初の外国企業です。 www.dow.com